

# 自己評価結果公表シート（令和2年度）

学校法人育保学園 アエしくまのだ

## 1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるような環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

## 2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

## 3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・受容的な関わり方の学び
- ・保護者と共に作る保育園作り
- ・主体性を大事にした保育

## 4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
・室内環境の見直しと改善を図る	・子どもの主体性を大事にした保育を行う為に室内環境の見直しを各クラスで行い改善を行った。毎月の職員会議にて、クラス内の環境を話し合ったり、日誌で振り返りを行ったりする事でブラッシュアップしてきたが、前年度に活用した教育・保育環境ガイドラインの活用が十分にできなかった。 ・各クラスに応じた玩具を職員で選び発達に応じた物を用意したことで遊びの幅が広がった。 ・ワンフロアでの保育となる為場所の有効活用を考慮しながら子どもが主体的且つ継続性を持って遊べる環境作りを今後も考えていく必要がある。
・保育者としての質の向上に努める	・園内研修や外部研修を通して保育者の子どもへの適切なかわり方について共通意識を高めたり、学んだりしてきた。また学期ごとに行う振り返りで、子どもへの関わり方について自己評価を行う事で、意識を高めて保育をすることができた。ただ非常勤の職員に対しての情報共有が難しく、園全体で意識を高める事が難しかったので、非常勤の職員に対しても、同じく学びの時間の確保が提供できるように対応を考えて行く必要がある。

## 5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・主体性を大事にした保育の見直し	・主体性を大事にした保育の見直しを行い、PDCAサイクルを活用しながら、より主体的に子どもが遊べる環境づくりを行って行きたい。
・保護者支援の充実	・コロナ禍で行事を行う事が難しくなることが予想されるので、コロナ禍でも保護者の方とのコミュニケーションが図れる事を考えていきたい。
・サーキット遊びの充実と見直し	・前年度からサーキット遊びを取り入れてきたので、引き続きサーキット遊びが盛り上がるように環境を整えていきたい。